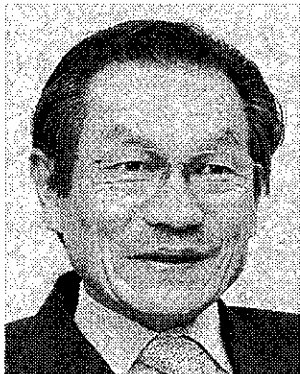


2012 展望-建設コンサルタント

ACKグループ 廣谷彰彦社長 「民間・海外分野で業容を拡大」

2012 展望



建設コンサルタント

業務の受注量は増えて
いるが、経営環境を冷静
に分析すると、震災など
自然災害の復旧・復興に
予算が重点的に配分され

ACKグループ
廣谷 彰彦 社長

民間・海外分野で業容を拡大

た結果に過ぎない。国の 前期の業績は減収減益 した。公園や道の駅と さまざまな分野へ果敢に挑 ち上げ、連携事業をスタ
歳入・歳出を考えた場合、 となったが、経営改革に いった施設の包括管理な 戦している。企業として ートする。当初は採算的
長期的に見れば公共投資 必要な取り組みの影響が どもさまざまな仕事と考え 質的転換を図り、通り一 に厳しい面もあると思っ
の増額は期待できない。 大きく、決して状況が悪 っている強みをより強く 辺倒のビジネスモデルを が、設計や工事監理など
建設コンサルタントが業 いわけではない。公共事 する取り組みが必要だ。 変えていく。将来を見据 単一の仕事を受注するだ
務領域をより上流に広げ 業に頼るのではなく、民 海外の大手建設コンサ 重要な年になる。これま わらない。新会社は両ク
ていくのは当然の流れ 間分野や海外展開など 海外の大手建設コンサ 重要で目を向けていなかった ループから一定程度の距 離を置いた立ち位置が必
だ。あらゆる需要に応え 業容拡大を図っていく。 ルタンツは、業績を急激 分野にも、積極的に目を 要だと考えている。

海外展開のうち民間分 国内、海外共に建設コ
野は、パシフィックコン ンサルタントの経営環境
サルタンツと新会社を立 は転換期に入っている。